

# 牛伏川を伝えよう防災遺産活用事業 (牛伏鉢伏友の会)

平成25年度地域発・元気づくり支援金事業 活用事例発表

## 牛伏川を伝えよう防災遺産活用事業



牛伏鉢伏友の会  
松本市・内田



1

## 牛伏川の場所 (うしぶせがわごふくじがわ)

- 松本駅から車で20分
- 塩尻北インターから車で15分
- カーナビでは「牛伏寺(ごふくじ)」を検索して下さい。
- 大型バスは、国道20号村井下町北⇒新白姫橋(右折)経由として下さい。

- 砂防施設等はどなたでも自由にご覧いただけます。
- 案内を希望される方は事前にご連絡をお願いします。



## 災害の歴史

昔、この川の谷は・・・こんな崩壊の谷だった。

崩壊した泥沢の中部



秃山となった日影沢と泥沢の全景



3

## 当会の紹介と活動経過

- 平成13年から活動開始して、平成15年に組織化
- 防災遺産の保全と里山活用ボランティア団体
- 現会員18名(男性10名・女性8名)
- 春と秋・年2回の牛伏川水系登山の実施
- 現場作業は「草刈り・倒木処理・登山道整備」
- 2箇所のトイレ掃除を平均月2回実施  
(現在は汲み取り式トイレのため簡易水洗トイレの希望あり)
- 会のモットー「できる時に、できる人が、できる事を」

平成25年度は長野県から「地域発元気づくり支援金」(約47万円)の助成をうけ、「牛伏川を伝えよう防災遺産活用事業」に取り組んだ

4

平成25年の成果-1

## 防災遺産学習講座の実施

座学(3回)



現地学習と案内実習(4回)



5

## 案内活動の実習・実践



# 牛伏川を伝えよう防災遺産活用事業 (牛伏鉢伏友の会)

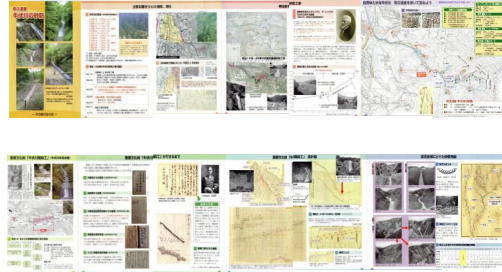
## 防災遺産学習講座の成果

- 牛伏川について 講座参加者の学習を深めることができた
- 講座に参加するだけでなく、自分の得意分野(花、蝶など)をまわりに説明することができた
- 講座で学んだことで、実際の見学案内活動に実践できた  
(公民館 学校などの案内の実践)
- 案内者が増えることで、見学にきたかたに細かい対応(説明など)ができた
- 休日などの案内により 見学者が増加した

7

## 平成25年の成果-2 屏風折りのリーフレットを作成

(印刷:3000枚 費用:190000円)



8

平成25年の成果-3

## フリーハンドスピーカーの購入

(購入数:2機 費用:48000円)



9

平成25年の成果-4

## 現地案内板の付け替え (2箇所 費用:12万円)

連岳橋駐車場東 フランス式階段工上部左岸



10

## 防災遺産活用促進連絡会の開催

- 行政(県・市)と地元関係団体及び個人で構成
- 平成26年3月と平成26年10月に開催
- 11月に、現地確認予定
- 道路案内板設置
- 現地案内板・駐車場の整備、他



市民活用の場・観光資源・教育の場として  
地域活性化にどうつながるか？

11

## 見学者の状況

★平成25年の総入込みは8000人前後あり。

(現地のチラシ活用枚数で入込みを推計)

★平成25年度は24団体567人を案内した。

連岳橋駐車場東 フランス式階段工望遠橋の看板



12

## 牛伏川を伝えよう防災遺産活用事業 (牛伏鉢伏友の会)

### 今後の目標と課題

- 案内インストラクター制度の確立
- 砂防施設を官民協働の保全体制強化
- 歴史・健康学習の活用と広報強化
- 歴史防災遺産の調査と記録
- 動物・昆虫・山野草・樹木の調査と保護活動

13